令和4年度 LGBT 等性的少数者の人権尊重施策の進捗について

事業名	性の多様性の理解促進及びLGBT等の性的少数者の困難の解消に向けた支援
<p><令和4年度 事業計画></p> <p>これまで、パートナーシップ宣誓制度をはじめ、市職員、市民、企業、家庭（保護者）向けの啓発リーフレットを活用した取組を通じて、性の多様性に関する理解は深まってきているが、<u>未だ社会の理解が十分に進んでいるとはいえず、性的少数者の方々は、周囲に隠し、孤立を深め、生きづらさを抱えながら暮らしている方が多く、更なる取組が求められている。</u></p> <p>また、性的少数者の方々は、<u>複合的な課題を抱えている方も多く、さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的困窮とメンタルヘルスの悪化が顕著であることが指摘されている。</u></p> <p>令和4年度においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アライ*を増やす・可視化する取組 ※【別紙1：第36回京都市人権文化推進懇話会資料参照】 ○ パートナーシップ宣誓制度都市間連携の更なる推進 等に取り組む。 	
<p><令和4年度 事業の進捗報告></p> <p>1 6月プライド月間*における性の多様性に関する取組（民間との連携による取組）</p> <p>多様な性の在り方が尊重され、差別や偏見のない「誰一人取り残さない」共生社会の実現に向けて、大丸京都店及びLGBT等の当事者団体と連携し、LGBTに関するパネル展、当事者によるトークショーやプライドパレードを開催するほか、「京都市役所本庁舎塔屋」のレインボーライトアップ、市内の商店街におけるレインボーフラッグの掲出等を行った。</p> <p>【別紙2：プライド月間の取組の様子（写真）参照】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>* 毎年6月は世界各地で「プライド月間」として、LGBTのコミュニティを祝うパレードや、権利を啓発するイベントが開催される月間</p> </div> <p>(1) 性の多様性に関する基礎知識、相談窓口、当事者のメッセージ等のパネルを、大丸京都店及び「ろっくんプラザ」（新京極商店街）で展示（6月1日～30日）</p> <p>(2) 「京都市役所本庁舎塔屋」を、性の多様性のシンボルカラーである「赤、橙、黄、緑、青、紫」の6色のレインボーカラーにライトアップ（6月27日～30日）</p> <p>(3) 商店街においてレインボーフラッグ（約350本）を掲出（6月1日～30日）</p> <p>場所：四条繁栄会商店街、新京極商店街、三条名店街商店街</p> <p>(4) 大丸京都店特別企画「LOVE MY COLORS - LOVE YOUR COLORS」の実施（6月1日～30日）</p> <p>ア 京都を拠点に、LGBTの当事者等の居場所づくりなどの活動を行っている団体主催のイベントの写真を展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「京都プライド撮影会2021」（主催：カラフル） ・「京都レインボープライドパレードフェス2022」（主催：そらにじ京都） <p>イ 京都市交響楽団Juvichanによる演奏会&トークショー</p> <p>自らLGBTの当事者であることを公表されているJuvichanと、その良き理解者である金本洋子さん・中山航介さんとの心あたたまるお話、御三方による演奏</p> <p>日時：令和4年6月4日（土）午前11時30分～、午後1時30分～（各回20分）</p>	

ウ 未来につながるメッセージを書いて、みんなで虹を作ろう。

来店される方に書いてもらった「未来のあなたへ、あなたの大切な人へ、まだ出会ったことのない誰かへ・・・色とりどりのメッセージカード」を飾り、虹のモチーフを作成

エ 「未来につながるメッセージを書いて、みんなで虹を作ろう。」の会場でメッセージを投稿いただいた方に、オリジナルのレインボーわたがしを配付

日時：令和4年6月4日（土）正午～午後5時

オ 大丸京都店の外壁及びコリドール（回廊）をレインボーカラーに装飾

(5) 「わたプロプライドパレード in 京都（主催：(株)releys）」（参加：35名）

日時：令和4年6月5日（日）午後1時～午後2時45分

道順：京都市役所前から西→烏丸御池を南下→四条通を東→円山公園

2 京都府内パートナーシップ制度導入市町村との更なる連携の推進

新たにパートナーシップ宣誓制度等を開始した福知山市（令和4年4月1日開始）及び向日市（令和3年10月1日開始）と、『パートナーシップ宣誓制度等に係る都市間連携に関する協定』を、令和4年6月27日に締結し、7月1日から運用開始。

これにより、昨年度同協定を締結した亀岡市及び長岡京市に、新たに2市が加わった5市間において、パートナーシップ宣誓制度等の利用者が、転居をしても簡易な手続により、転出先の市から宣誓書受領証等の交付を受けることができる。

この協定の締結を契機に、LGBT等の性的少数者に係る取組について、5市間で更に連携を広げていく。

3 コミュニティスペース「京都まあぶるスペース」及び個別相談会の定期的な実施

「パートナーシップ宣誓制度等に係る都市間連携に関する協定」に基づき、京都市、亀岡市、長岡京市との共催で、年8回開催する（令和3年度：4回開催）。

また、近隣市と連携することで、市内居住の当事者にとって、居場所づくりへの参加の機会が広がり、更なる生きづらさの解消につながる。

【別紙3：京都まあぶるスペース開催案内チラシ参照】

<令和4年度実績>

実施日	場所	メインテーマ	対象・参加者数
6月25日（土） 午後2時～ 午後4時	京都市 男女共同参画 センター	パートナーシップ宣誓 制度について	当事者、そうかもしれない方、ご家族、 支援者、関心のある方など コミュニティスペース：12人／ 個別相談：1人（予約：1名、当日：1名）

【参加者の声】

- ・公共の機関でこのようなイベントを開催していただけることが、とても励みになった。
- ・色々な人から話を聞いて、知らなかったことなどもあり、勉強になった。
- ・他の参加者の体験談を知ること、今の社会の現状について知れた。
- ・自分事として一人一人が考える機会の重要性を再認識した。
- ・性別違和の人がトイレを利用する時、多目的ではなく自認する性での利用を望んでいる。